

京都府立医科大学大学院医学研究科カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

<博士課程>

博士課程統合医科学専攻においては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、高度で先進的な医療を推進する医師又は先端的な医学研究を展開しうる医学研究者を育成するため、総合コースとがんプロフェッショナル養成専門コースを開設している。

各カリキュラム策定に当たっては、講義や研究指導、Eラーニングを併用して、高邁な倫理観を修得させるとともに、各専門分野における最先端の専門的な知識や技能の教授と研究指導を行うことにより、自立した人間性と研究成果を応用・実践していく能力を身につけさせるものとする。

〔総合コース〕

専門分野における知識と能力を有する専門的な医師・医学研究者を育成するため、教育課程を専門領域（主科目、副科目）、共通領域及び研究指導に分類し、教育・研究指導を行う。

1. 主科目（専門領域）では、学位論文作成の基盤となる知識、技術を修得するための教育を行う。
2. 副科目（専門領域）では、主科目での研究を遂行する上で必要となる知識、技術を補完するための教育を行う。
3. 共通領域では、全ての学生に共通する基礎的、基盤的な知識を修得するための教育を行う。
4. 研究指導（特別研究）では、研究テーマを主体的に設定し、専門領域及び共通領域の授業科目で修得した知識、技術を応用し、研究テーマに即した学位論文作成の研究及び研究者に必要とされる倫理観の修得を目的とした教育を行う。

〔がんプロフェッショナル養成専門コース〕

がん医療の担い手となる質の高い専門医や集学的治療におけるチーム医療者を育成するため、教育課程を基礎科目、専門科目及び研究指導（特別研究）に分類し、教育・研究指導を行う。

1. 基礎科目では、腫瘍に関する基礎的知識・技術を修得するための教育を行う。
2. 専門科目では、各臓器、領域での腫瘍の治療、診断等に関する専門的知識・技術を修得するための教育を行う。
3. 研究指導（特別研究）では、基礎科目及び専門科目で習得した知識、技術を応用し、学位論文作成のための研究及び研究者に必要とされる倫理観の修得を目的とした教育を行う。

評価にあたっては、専攻分野における研究者として自立した研究活動を行うために必要となる研究能力及びその基礎となる豊かな学識の習得度により、学修成果を評価する。

<修士課程>

修士課程医科学専攻においては、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、学際的展開を図りうる医学研究者又は地域の保健医療に貢献する高度な専門職業人を育成するため、教育課程を専門教育科目、専門関連科目、共通教育科目、特別研究科目に分類し、教育・研究指導を行う。

カリキュラム策定に当たっては、講義や研究指導、Eラーニングを併用して、研究に必要な高邁な倫理観を修得させるとともに、各専門分野における最先端の医学知識や技能の教授と研究指導を行うことにより、研究成果を活用できる能力を身につけさせるものとする。

1. 専門教育科目では、医科学及びその関連領域の基礎を体系的に習得させる教育を行う。
2. 専門関連科目では、専門教育科目に関連する医学的知識、技術の補完を目的とした教育を行う。
3. 共通教育科目では、全ての学生に共通して必要となる基礎的、基盤的な知識の習得を目的とした教育を行う。
4. 特別研究科目では、研究テーマを主体的に設定し、専門教育科目、専門関連科目及び共通教育科目で習得した知識、技術を応用し、修士論文作成のための研究指導と研究者に求められる倫理観の修得を目的とした教育を行う。

評価にあたっては、専攻分野における研究能力及び高度な専門性を要する職業等に必要となる卓越した能力の習得度により、学修成果を評価する。